

①事業実施報告書詳細

学校名 江戸川区立二之江第三小学校

1 児童の問題意識

私たちのまちには新川が流れているね。すごく歴史のある川みたいだよ。今、江戸川区が整備工事を進めているね。きれいになった遊歩道では、地域の人が散歩したり、走ったりしているね。夏には多くの人がハゼ釣りをしているよ。夜になるとすてきな街灯がついているよ。

でも、自分たちはあまり新川のことを知らないな。

2 単元（題材）の意図

本校（二之江第三小学校）のすぐそばには、東京都と江戸川区が整備を進めている新川（江東区小名木川へと続く水上交通の要所であった川であり、歴史上重要な役割を果たしてきた川）が流れており、来年度、整備事業が完成する予定となっている。現在は工事を行っている状態である。整備前と整備後での景観の変化や、景観を生み出す歴史的背景、そこに住む人々や生き物の生態なども含めて学習し、児童が地域を愛し、まちなみに親しみと誇りのもてるよう学習を進展させたい。また、図画工作科の学習において、地域住民の方々と協力し、景観をよりよくする取り組みを行い、未来のまちを考え、今のまちなみのよさを見つめなおす機会を提供したい。

3 単元目標・実施日時

- | | | |
|----------------------------------|-----------------------|---------------------------|
| ・ 地域の様子を再認識する。 | 「探してみよう！まちパーツ」 | 平成26年 9月18日（木） |
| ・ 新川と親しむ。 | 「新川ハゼ釣り体験」 | 平成26年10月 2日（木） |
| ・ 新川の歴史を知る。 | 「新川の歴史を学ぶ ～新川 今・むかし～」 | 平成26年10月23日（木） |
| ・ 新川の歴史的景観の変遷を学び、江戸川区が行う整備事業を学ぶ。 | 「新川和船体験」 | 平成26年10月24日（金） |
| ・ 地域景観をよりよくする。 | 「新川を美しく～光のアート～」 | 平成26年11月27日（木）
～28日（金） |
| ・ よりよい未来のまちをつくる。 | 「未来のまちづくり」 | 平成27年1月～3月 |

4 身に付ける資質・能力・態度

<p>学習方法に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの景観を考えるとという視点を持ち、まちの良さや問題を見付ける。 ・まちをよりよくする行政による取り組みや地域の歴史などの情報について体験を通して知る。 ・地域の景観をよりよくするための取り組みを考え、計画し、実践する。 ・学んだことを総合的に判断し、よりよい未来のまちを考え、表現する。
<p>自分自身に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・景観まちづくり学習を通して、探究活動の楽しさや地域の良さを知る。 ・住んでいる地域をよりよくするために進んで活動する。 ・体験を通して学んだことを活用し、地域の未来に何が必要かを考える。
<p>他者や社会とのかわりに関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を通して、今まで知らなかった歴史や様々な人の活動を知る。 (特に景観行政について学び、地域の景観をよりよくしようする取り組みを知る。) ・地域を愛する人の心にふれ、地域を大切にしている心情をもつ。 ・自分たちのつくった作品を地域に展示することで、まちの人と間接的に関わり、地域の一員としての自覚を育てる。

5 関連する教科

教科名	学習内容	時間数
<p>図画工作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・光の美しさを感じながら、ランプシェードをつくる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 紙によるランプシェード 	4時間
	<ul style="list-style-type: none"> 和紙によるランプシェード 	4時間
	<ul style="list-style-type: none"> ランプシェードの片付け ・未来のまちを軽量パルプ粘土を使いつくる。 	1時間 10時間

6 構想図 ([] …は児童の意見・感想)

1 探してみよう！まちパーツ

普段何気なく通っていても見過ごしているところに目を向けさせ、まちなみを知る手掛かりを探す。児童は、まちパーツを写真に撮り、集めることで、自分たちのまちの特徴ある景観やまちの構成要素を感じ取る。

- ・新川のながめがすてきだな。
- ・江戸川では漁から帰る船が見えたよ。
- ・カモなどの野鳥がたくさんいるね。
- ・地域には、歴史を示す看板もあるね。
- ・神社には歴史ある鳥居があるね
- ・水門は夜にライトが付いていいね。

2 新川ハゼ釣り体験

景観は風景や見た目だけでなく、そこに住む人々の営みも含まれるという江戸川区の景観行政と合わせて企画。地域を流れる川に親しみをもつことを目標とする。江戸の武家町人たちも楽しんだと言われるハゼ釣りを楽しく体験した。

- ・ハゼ釣りはとっても楽しいね。
- ・新川って魚がたくさんいるんだね。
- ・放課後、また釣りに行こう。
- ・釣ったハゼを飼ってみたい。

3 新川の歴史や景観の変遷を学び、江戸川区が行う整備事業を学ぶ。

本授業では、新川の成り立ちや渡し場の様子、舟運から陸上交通への交通の変化等を学ぶ。また、学んだ知識を基に、水上からの景観を見たり、渡し場の在った場所の説明や歴史を聞いたりする。過去から現在への視点も組み入れ、江戸川区の新川の整備について江戸川区土木部から説明を受ける。

- ・和船から眺める景色がとてもきれいだったよ。
- ・もう一回和船に乗りたいね。
- ・江戸川区が「江戸情緒」をテーマに整備していることがわかったよ。

4 地域景観をよりよくする取り組みを行う。

図画工作科において、児童自らがつくったランプシェードで夜の新川をライトアップする取り組み。地域との一体感を感じさせる取り組み。

- ・本当にきれいだね。
- ・こんなにきれいな景色になると思わなかった。
- ・たくさんの地域の人が喜んでくれたね。
- ・二日で終わるのはもったいない

5 未来のまちづくり

学んできたことを総合的に判断し、よりよいまちの未来について考え、表現する授業。クラスで共同製作。

7 学習の流れ

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
2 時間	学区域	<p>「探してみようまちパーツ」…</p> <p>普段何気なく見過ごしているところに目を向けさせ、まちなみを知る手掛かりを探す。</p>	  <p>児童の撮った写真</p>   	<ul style="list-style-type: none"> ・新川のながめがすてきだな。 ・江戸川では漁から帰る船が見えたよ。 ・カモなどの野鳥がたくさんいるね。 ・地域には、歴史を示す看板もあるね。 ・神社には歴史ある鳥居があるね。 ・水門は夜にライトが付いているね。
2 時間	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のお気に入りの一枚を選び、「これ、ど〜こだ？」プリントに場所の記録をまとめ、廊下に掲示する。 ・みんなで撮った写真を見合いながら、まちのよさや構成要素を考える。 	 <p>「これ、ど〜こだ？」プリント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板の前に児童が集まり、写真の場所について話し合う姿が見られた。

2時間	校外	<p>新川ハゼ釣り体験…</p> <p>江戸川区が「江戸情緒」を景観のテーマに整備事業を行っている新川に児童が親しみをもつことができるようにする。</p> <p>景観の要素を感じ、眺めだけでなく、そこに生きる人々、生き物を知る。・地域の歴史ある川を身近に感じ、親しみをもつ。</p>	   <p>江戸川区の景観の捉え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハゼ釣りはとっても楽しいね。 ・新川って魚がたくさんいるんだね。 ・放課後、また釣りに行こう。 ・釣ったハゼを飼ってみたい。
1時間	図書室	<p>新川の歴史を学ぶ</p> <p>新川～今・昔～…「発見してみよう！まちパーツ」や「新川ハゼ釣り体験」の中で見付けた、地域の歴史や文化、現在の様子など疑問、質問に関する情報を収集する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・新川には昔、たくさんの船が行き交っていたんだね。 ・三角（地名）には渡し場があったんだね。
2時間	学区域を流れる新川	<p>新川の歴史を学ぶ</p> <p>和船体験…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸川区の新川の整備状況を知る。 ・和船を体験し、歴史の話を聞きながら川からの眺めを体験する。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・和船から眺める景色がとてもきれいだったよ。 ・もう一回和船に乗りたいね。 ・江戸川区が「江戸情緒」をテーマに整備していることがわかったよ。 ・地震に対策も行っているんだね。

9時間	校内・校外（新川に展示）	<p>新川を美しく～光のアート～…</p> <p>江戸川区新川河川敷・橋梁周辺に夕方～夜にかけてランプシェードを設置し、周囲の景観をより美しく変える取り組み。図画工作科の授業において作品をつくる。</p>	   	<ul style="list-style-type: none"> ・本当にきれいだね。 ・こんなにきれいな景色になると思わなかった。 ・たくさんの地域の方が喜んでくれたね。 ・二日で終わるのはもったいないね。
11時間	校内	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返りながら、未来のまちを考え、つくる授業。クラスでの共同製作。 	  	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の途中に江戸川区都市計画課 景観・地区計画係りの皆さんに来ていただき、景観やまちづくりについて話をさせていただきました。 ・『学校のすぐそばには小松菜畑があるね。』 『これは未来に残したい風景だね。』

			  	<p>・『新川には「江戸情緒」を感じさせる街灯があるね。』 これは自分たちのまちにもいかそう。『千本桜の風景もすてきだね。』</p> <p>・『新川には昔、蒸気船がはしっていたことを学んだよ。』『未来にも残したいね。』</p> <p>・『まちの商店街をつくろう。入り口には花がたくさん咲いたゲートが欲しいね。』</p>
--	--	--	---	---

8 指導案

総合的な学習の時間 学習指導案

単元名 (全4時間)	探してみよう！まちパーツ
学習のねらい	普段何気なく見過ごしているところに目を向けさせ、まちなみを知る手掛かりを探す。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 2チームに分かれて、地域のまちパーツを探す。 場所を選びながら一人3枚の写真をデジタルカメラで写す。 学校に戻り、自分のお気に入りの一枚を選び、「これ、ど〜こだ？」プリントに場所の記録をまとめ、廊下に掲示する。 みんなで撮った写真を見合いながら、まちのよさや構成要素を考える。
参考資料 準備品 実施場所等	<ul style="list-style-type: none"> 校外活動の実施届を準備・提出する。 デジタルカメラ（10台）と学区地図を準備する。（学区地図は各班のリーダーに当日配布する。） 引率の保護者ボランティアを募集する。 地域の大きさに合わせて2チームに分かれて写真を撮る。（活動場所は学区）

学習の流れ（探してみよう！まちパーツにおける校外活動部分2時間）

時間	学習活動	教師の指導	評価
10分	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容を知る 安全や活動の注意点を聞く。 保護者ボランティアへのあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のまちのすてきな眺めや好きな場所（もの）、面白いものを見つけて、一人3枚の写真を撮るように伝える。 安全の注意 <ul style="list-style-type: none"> ①交通ルールを守ること。 ②写真を撮る時は前後に車や自転車がいないか注意すること。 活動の注意 <ul style="list-style-type: none"> ①人の敷地に入らない。 ②人やお店などを撮る場合は、許可をもらってからにする。 授業に協力してくれる保護者を紹介する。 	
65分	<ul style="list-style-type: none"> 2チームに分かれて、地域を歩く。 写真を撮った場所を各班のリーダーが持っている地図に書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全の注意、活動内容の確認を適宜行う。 途中で歴史ある建物があったり、まちの象徴的な場所、風景があるところでは、「どうしてこういうものができたのかな？」「この〇〇は昔からあるのかな？」といった課題をもたせる投げかけを行い、後の授業へとつなげる。 途中の公園などで適宜休憩をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に取り組んでいるか、自分なりの考えをもって取り組んでいるか、まちのよさや歴史などに興味を感じ取っているか（課題設定）を、児童の発言や行動から評価する。
15分	<ul style="list-style-type: none"> 活動の振り返り お世話になった保護者ボランティアにあいさつをする。 クラスに戻り、カメラ等を片付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 撮った場所やものについて、何人かに発表させる。 保護者ボランティアにお礼をする。 	

<留意点> 次の時間に、お気に入りの一枚を印刷し、「これ、ど〜こだ？」クイズを作成、活動のまとめを行う。（2時間）

総合的な学習の時間 学習指導案

単元名 (全2時間)	新川ハゼ釣り体験
学習のねらい	地域の歴史ある川を身近に感じ、親しみをもつ。
学習内容	1 江戸川区が「江戸情緒」を景観のテーマに整備事業を行っている新川に児童が親しみをもつことができるようにする。 2 景観の要素を感じ、眺めだけでなく、そこに生きる人々、生き物を知る。
参考資料 準備品 実施場所等	<ul style="list-style-type: none"> ・釣竿、えさ、バケツ、ぞうきん、時計 ・保護者ボランティアの募集 ・校外活動実施届 ・事前指導で、釣竿の出し方、しまい方、釣りに関する安全指導を行う。 ・えどがわエコセンター発行の新川生き物図鑑を使い、新川の生き物を知る。 ・釣りのグループ分けを行う。(釣りの上手な児童をリーダーに各竿に2、3人になるよう配置) ・釣った魚を家で飼いたい人は、当日バケツを持ってくるように指示する。

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
10分	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を知る ・安全や活動の注意点を聞く。 ・保護者ボランティアへのあいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・2チームに分かれて、釣りをすることを伝え、新川の生き物についての簡単な説明を行う。 ・釣りに関する安全指導を行い、行き返りの交通安全に関する注意を行う。 ※釣竿は先が伸びないように上に向けて持つこと。 ・保護者ボランティアにあいさつをする。 	

55分	<ul style="list-style-type: none"> 2つの場所に分かれて釣りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 1本の竿に対して、2、3人ずつ配置し、互いの間隔を十分とれるように配慮する。 授業の中では、エサの取り付け、糸の絡まり、釣れた魚の取り外しなど、いろいろなことが発生するが、保護者ボランティアと協力し、適宜対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に活動できているか。 新川の生き物に興味をもっているかを児童の発言や行動から評価する。
25分	<ul style="list-style-type: none"> 片付け 学校へ帰る まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 糸や針は厚紙に巻くように指示し、持ち歩きやすいようにする。 ボランティアさんにお礼を言う。 活動の中で、楽しかったことや感じたことを数人に発表させる。 教室で釣竿やそうきんなどを整理し片付ける。 	

<留意点>

- 次の時間に活動の振り返りカードを書かせ、感想を発表し合うなど、眺めがきれいな新川という側面だけでなく、そこに生きる人々であったり、生き物であったり多面性が広がるようにする。（1時間程度）
- 当日だけでは評価しきれない側面もあるため、振り返りカードなどを使い、児童の学びを把握することが必要。

総合的な学習の時間 学習指導案

単元名 (全3時間)	新川の歴史を学ぶ 新川～今・昔～(1時間)和船体験(2時間)
学習のねらい	「発見してみよう!まちパーツ」や「新川ハゼ釣り体験」の中で見付けた、地域の歴史や文化、現在の様子など疑問、質問に関する情報を収集する。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 自分たちのまちのすてきな景観を見て感じる。 地域の歴史や新川の歴史を総合的に学ぶ。 江戸川区の新川の整備状況を知る。 和船を体験し、歴史の話を聞きながら川からの眺めを体験する。
参考資料 準備品 実施場所等	<ul style="list-style-type: none"> 事前に児童の質問、疑問等をまとめる。 当日の話をまとめるためのワークシートを準備 スライドショーの作成(児童の関心ある内容に基づき、歴史会等のボランティアとの打ち合わせをしながらつくる) 江戸川区との企画・調整 保護者ボランティアの募集 校外活動実施届の提出

学習の流れ（新川～今・昔～に関する1時間）

時間	学習活動	教師の指導	評価
5分	あいさつをする。	※教師は司会進行を行う。 ・歴史会の方の紹介をし、あいさつをする。	
30分	・ワークシートに学んだことを記入する。	・江戸川区の歴史を紹介（10分） ・新川の歴史を紹介（20分） ※児童の意見に基づいたスライドが出てきた場合は、児童の意見も紹介する。	
10分	・これまでの活動から考えた、質問や疑問を聞く。 ・話を聞いた感想を発表する。	・スライドの要点を整理し、まとめを話す。	児童の発言を評価する。

<留意点>

- ・これまでの活動で出てきた質問・疑問等をまとめておくことが大切。児童の知ることのできなかつた情報を本授業にて提示する工夫が大切。

学習の流れ（和船体験に関する2時間）

時間	学習活動	教師の指導	評価
15分	・学習内容を知る。 ・江戸川区の職員や歴史会の方を知り、あいさつをする。 ・安全の注意を聞く ・新川に移動する	※和船の乗船人数の都合上、クラスを2チームに分けて、行き返りで和船の乗船メンバーを交代させる。 ・授業内容を伝える。和船体験（水上から見た新川の眺め、歴史的な場所の説明）と江戸川区の「江戸情緒」に合わせた整備状況の話（「耐震」や「江戸の情緒」、「千本桜」の計画） ・関わっていただいた方々を紹介する ・安全に関する注意 ①交通安全 ②水上での安全	

60分	<ul style="list-style-type: none"> 和船を体験する。 船を降り、遊歩道を歩きながら要所で江戸川区の新川に関する整備状況を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 水上からの眺め、江戸川区の整備「江戸情緒」、歴史的場所、橋の裏側など話を聞きながら、川を下る。 ※話は歴史会の方や船頭さんから話していただく。場合によっては、教師が司会をする。 「耐震」や「江戸の情緒」、「千本桜」の計画を区の職員から説明していただく。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の質問等を評価
15分	<ul style="list-style-type: none"> 活動の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 2、3人の児童に考えたことや感じたことを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発言を評価

<留意点>

- ・後日、活動の振り返りをワークシートにまとめる。
- ・時間があれば、関わってくださった方々にお礼のお手紙を作成する。
- ・教師は江戸川区や歴史会との関係調整を行う必要がある。関わる多くの方と打ち合わせを重ね、当日に備える。

図画工作科 学習指導案（大型ランプシェード）

単元名 (全4時間)	新川を美しく～光のアート～（グループ製作）
学習のねらい	思い付いた形に竹ひごを編み、光の見え方を考えながら和紙を貼る。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> ねぶた祭りの山車を見せ、竹ひごや和紙で大きなランプシェードがつかれることを伝える。 グループごとに分かれて、思い付いた形に竹ひごを編む。 竹ひごの上に和紙を貼る 新川に展示する
参考資料 準備品 実施場所等	竹ひご、アルミ針金、和紙（白い和紙と色和紙）、のり、刷毛、紙粘土（おもり） 屋外設置の許可を江戸川区に申請する。 作品の設置や見回りの保護者ボランティアを募る。

図画工作科 学習指導案（小型ランプシェード）

単元名 (全4時間)	新川を美しく～光のアート～
学習のねらい	光の見え方に興味をもち、厚紙を折ったり、曲げたりしながら、思い付いた形を切り抜く。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ランプシェード（厚紙）や光の見え方について知る。 2 設置場所について考える。（新川） 3 画用紙を折ったり曲げたりして、形を考える。 4 ボンドで貼り付けたり、カッターで切り抜いたりしながら、ランプシェードを2基つくる。 5 新川に展示する。
参考資料 準備品 実施場所等	<p>厚紙、LEDランプ、ボンド、カッター、はさみ</p> <p>屋外設置の許可を江戸川区に申請する。</p> <p>作品の設置や見回りの保護者ボランティアを募る。</p>

※他、小型・大型ランプシェードの片づけに1時間。

学習の流れ（小型ランプシェードに関する4時間）

時間	学習活動	教師の指導	評価
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ランプシェード（厚紙）や光の見え方について知る。 ・設置場所について考える。 ・画用紙を折ったり、曲げたりして形を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ランプシェードの仕組みがわかるよう に参考作品を複数準備する。 ・今回は学区域を流れる新川を設置場所としている。児童にみんなでテーマを決めるかどうか投げかけてみることもよい。 (今回、上記投げかけを児童に行ったところ、帰宅する人が多く通る道なので“家”がテーマとなった。テーマは発想を制限する部分もあるため、慎重に考える必要がある。) ・折り方や曲げ方で色々な形に変化することを指導する。 ・のりしろについての指導。 ・カッターの安全指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・発想、構想の能力

140分	<ul style="list-style-type: none"> 光を意識しながら、切込みを入れたり、中をくり抜いたりして、形を組み立てる。 1人2基つくる 	<ul style="list-style-type: none"> 時々、教室を暗室にし、光の見え方を確認する時間をとる。 展示幅を考慮し、今回は1人2基分つくるよう伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 創造的な技能
20分	<ul style="list-style-type: none"> 展示準備 	<ul style="list-style-type: none"> ランプシェードが風で飛んだりしないように土台を事前に準備し、児童に固定させる。 	
後日	<ul style="list-style-type: none"> 屋外展示した作品を鑑賞 		

<留意点>川に展示後、作品の見え方がどうだったか、感想をとるほうがよい。(鑑賞の評価)
後日、大型ランプシェードと小型ランプシェードの片付けに1時間とる。

単元名 (全11時間は総合的な学習の時間)	未来のまちづくり(共同製作)
学習のねらい	まちの見た目(景観)や美しさ(面白さ)を考えながら、思い付いたまちパーツをつくり、未来のまちを楽しく表現する。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 未来のまちに必要なまちパーツを考える。 江戸川区のまちづくり・景観行政について学ぶ 軽量パルプ粘土を使って、まちパーツをつくる。(同じことを思い付いた児童はグループとして、一緒に活動する。) まちパーツを貼り付ける。
参考資料 準備品 実施場所等	学区域地図、土台(ベニヤ板、白ボール紙)、軽量パルプ粘土、粘土板、絵の具セット、 定規(道などの設計) 江戸川区との打ち合わせ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1 時間（総合）	江戸川区のまちづくりや景観について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーに江戸川区都市開発部都市計画課景観・地区計画係りの方を招く。 ・事前に打ち合わせなどを行い、授業がスムーズに進むように司会を行う。 ・景観やまちなみについて意識をもたせる。 	
2 時間（図工）	<ul style="list-style-type: none"> ・未来の家や未来の建物のデザインを考え、つくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土の基本的な扱い方を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度 ・発想、構想の能力 ・創造的な技能
2 時間（図工）	<ul style="list-style-type: none"> ・未来のまちに必要なものを考え、つくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなのまちという意識をもたせるためにグループで意見を話し合う活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度 ・発想、構想の能力 ・創造的な技能
2 時間（図工）	<ul style="list-style-type: none"> ・「さがしてみよう！まちパーツ」で見つけた、自分たちのまちのよさについて考え、未来に残したいもの（場所）をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の写した写真を整理し、スライドショー等を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度 ・発想、構想の能力 ・創造的な技能
4 時間（図工）	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに分かれてつくる。 ・できた作品を土台に貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の意見から出た、まちに必要なものや残したいものでできていないものを確認する。 ・グループごとに出るつくりたい場所やものが重ならないように指導する。 ・色の組み合わせや周囲の建物との調和などを考えるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度 ・発想、構想の能力 ・創造的な技能 ・鑑賞の能力

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

- モデルプログラムだけでなく、総合的な学習の時間と図工の単元（題材）を組み合わせ、景観まちづくり学習に幅をもたせた点。
- 江戸川区や地域の方、保護者、地域の歴史を学ぶ会の方々など様々な人と連携して景観まちづくり学習を進めた点。

(2) 実施にあたり苦労した点

- 関係者と打ち合わせをする時間の確保
- 資料作成、ボランティア募集などのお便り作成

(3) 児童の反応

- 地域のよさを知るきっかけとなった。地域への親近感をもった。
- 多くの体験活動を楽しみ、学習を深めていた。特に「探してみよう！まちパーツ」や「和船体験」については、児童の記憶に残る授業になった。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- 景観まちづくり学習について知るきっかけとなった。
- さまざまな形で地域と関わった授業ができることを知り、地域の自然やまちなみについて目を向けるきっかけとなった。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- 授業のそれぞれが個々に独立しているように感じられ、全体的な流れを常に掲示するなどして児童に意識させながら進めていくことが必要。
- 地域の景観を美しくする取り組みは今後も継続して行う。また、江戸川区と連携しながら、景観に関する授業を行う。